

# 学会発表

(国内学会)

## 第11回中国セロトニン(5-HT<sub>2</sub>)研究会

2006年3月4日 広島市

- (1) 初代培養骨芽細胞におけるセロトニン受容体の発現  
—細胞分化調節機構への関与の可能性—  
西尾廣昭、平居貴生

## 第79回日本薬理学会年会

2006年3月8日～10日 横浜市

- (1) Effects of (Z)-3-hexenol, a major component of green odor, on anxiety-related behavior of the mouse in an elevated plus-maze test and biogenic amines and their metabolites in the brain.  
徳毛孝至、田村紀子、平居貴生、西尾廣昭
- (2) Effect of postnatal noise stress on emotional and anxiety-related behavior and spatial learning in juvenile mice.  
田村紀子、徳毛孝至、平居貴生、西尾廣昭

## 日本薬剤学会第21年会

2006年3月18日 金沢市

- (1) 受容体介在型中性多糖類の肝癌細胞における動態  
安保康男、浅野華子、黒川大輔、田中哲郎、金尾義治
- (2) 合成高分子を利用した抗癌剤の腫瘍集積化  
—ポリビニルアルコール-抗癌剤結合体の合成と評価—  
吉川智美、池田有香、柿木充史、矢野真実子、田口恭子、田中哲郎、金尾義治
- (3) パクリタキセル高分子プロドラッグの合成と評価  
細川宜嗣、石井大吾、砂刈 貴、田口恭子、田中哲郎、金尾義治
- (4) 新規素材・高度分岐環状デキストリンの体内動態  
—生分解性高分子担体としての利用性—  
田口恭子、岡崎 崇、細川宜嗣、田中哲郎、金尾義治
- (5) pH感受性スパーサーを用いたドキシソルピシン高分子結合体の合成と評価  
—ポリビニルアルコール-抗癌剤結合体の合成と評価—  
柿木充史、池田有香、大平隆博、田中哲郎、金尾義治、藤田佳平衡\*
- (6) 腎尿細管上皮細胞におけるナプロキセンおよびナプロキセングルクロニドの輸送機構  
吉田久博\*、坂田健太郎\*、片山博和、神谷 晃\*\*  
福山大学薬学部、\*明治薬科大学、\*\*山口大学医学部附属病院薬剤部

日本薬学会第126年会

2006年3月28日～30日 仙台

- (1) MW照射下電子環状反応によるフェナンスリジンおよびアザアントラキノナルカロイドの合成研究  
久米村鉄平、町支臣成、稗田雄三、延廣順子、日比野俐
- (2) Neurokinine 1 受容体拮抗作用を有する CP-728663 の合成研究  
池方康一郎、町支臣成、吉田亜以、棟近郁恵、延廣順子、日比野俐
- (3) Calothrixin A, B および Mukonine 類の全合成研究  
延廣順子、遠山茂雄、藤縄彦人、町支臣成、松本考司、久保田幸子、日比野俐
- (4) 生合成仮説に基づいた Calothrixin B の全合成研究  
山吹 晃、町支臣成、大村華菜、遠山茂雄、藤縄彦人、延廣順子、日比野俐
- (5) 茶エンドファイト糸状菌 *Diaporthe* sp. の産生するビスアントラキノン(+) *-epicytoskyrin* 及び(+) *-1,1'-bislunatin* の化学構造  
大橋一慶、Andria Agusta、澁谷博孝
- (6) ラット培養肝細胞からの肝性リパーゼの遊離に関与するロイコトリエン合成  
田頭尚士、虻川内理恵、本屋敷敏雄、森田哲生
- (7) 膵リパーゼに対する活性阻害物質を有するタイ国産植物の探索  
虻川内理恵、樋口義洋\*、Chaiyo Chaichantipyuth\*\*, 森田哲生
- (8) ジメチルアミン及びジエチルアミンの高感度蛍光プレラベルHPLC分析に関する基礎的検討 (その1)  
井上裕文、宗村小夜香、鶴田泰人
- (9) リソソームタンパクの細胞外放出機構  
戸田 憲、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (10) リソソームにおけるクロロキンの崩壊効果  
久保卓雄、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (11) Caco-2 細胞におけるベンゾ [a] ピレンの膜透過に対する P-glycoprotein 関与  
寺尾和美、杉原成美、古野浩二
- (12) Caco-2 細胞におけるエピカテキンがレート、エピカテキンの透過及び蓄積に及ぼす種々トランスポーター阻害剤の影響  
門脇正明、杉原成美、古野浩二
- (13) 正常肝並びに肝癌由来細胞におけるアジアロ糖タンパク質受容体の差異  
田中哲郎、安保康男、浅野華子、黒川大輔、金尾義治
- (14) 血中酸化ストレスに及ぼす尿毒症物質インドキシル硫酸の影響  
下石和樹、安楽 誠、北村健一郎、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部
- (15) 尿毒症物質フランジカルボン酸によるヒト血清アルブミンの酸化亢進機構について  
米良克美、安楽 誠、北村健一郎、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部

- (16) 血液透析患者における血中酸化ストレスに及ぼすオルメサルタンの影響  
門脇大介、安楽 誠、北村健一郎、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部
- (17) 酸化ストレスから診る血液透析患者における鉄剤投与設計の妥当性について  
安楽 誠、新塘里奈、北村 健一郎、丸山 徹、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部
- (18) 高薬物含量キトサンゲルビーズの新規調製法と薬物放出性評価  
古谷暢子、冨田久夫
- (19) ドッキングシミュレーションによるペントアンスレン型化合物のMAO-B阻害活性と結合様式  
井上和洋、秦 季之、馬場瑛子、小野行雄
- (20) 肺からの薬物吸収に関する研究 (7) ーフェノールレッドについてー  
古野孝明、西本真也、守安 彩、舟田有里、片山博和

#### 第14回 ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー白神大会

2006年6月23日～25日 青森

- (1) ダニのミトコンドリア遺伝子解析  
三谷春美、高橋 守<sup>a)</sup>、増山真佐子<sup>b)</sup>、福長将仁  
福山大学薬学部、a)川越総合高校、b)埼玉医科大学
- (2) *Leptotrombidium* 属ダニは2系統に分岐する  
湯浅伸輔、三谷春美、高橋 守<sup>a)</sup>、増山真佐子<sup>b)</sup>、福長将仁  
福山大学薬学部、a)川越総合高校、b)埼玉医科大学

#### 第22回日本DDS学会学術集会

2006年7月8日 東京

- (1) 感受性スパーサーを用いたドキシソルピシン-ポリビニルアルコール高分子結合体の合成と評価  
ー *cis*-アコニット酸スパーサーの立体構造異性が及ぼす薬物放出性への影響ー  
柿木充史、池田有香、田中哲郎、金尾義治、藤田佳平衡\*  
福山大学薬学部、\*長崎大学薬学部

#### 医療薬学フォーラム2006

2006年7月15日～16日 大阪市

- (1) 疑義照会における課題:ニューキノロン系抗菌剤と抗菌剤耐性乳酸菌製剤が併用されたらどのように対応しますか?  
藤井利加<sup>a)</sup>、五郎丸剛<sup>a)</sup>、佐々木智也<sup>b)</sup>、中山やちよ<sup>a)</sup>、福長将仁<sup>a)</sup>、  
江藤精二<sup>a)</sup>  
a)福山大学薬学部、b)佐伯中央病院薬局

### 第29回日本神経科学学会大会

2006年7月18日～21日 京都市

- (1) Functional activity of serotonergic system expressed in mouse osteoblasts.  
平居貴生、西尾廣昭

### 第13回血液代替物学会

2006年8月24日～25日 東京

- (1) ヒト血清アルブミンの安定性に及ぼす各種添化剤の影響  
安楽 誠、甲斐俊哉、河野陽介、山崎啓之、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部
- (2) マウスにおけるヘモグロビン小胞体構成脂質の体内動態解析  
田口和明、浦田由紀乃、安楽 誠、甲斐俊哉、武岡真司、土田英俊、  
小林紘一、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部、  
早稲田大学理工学部、慶応義塾大学医学部

### 第18回微生物シンポジウム

2006年9月1日～2日 岡山

- (1) 環境変化における回帰熱ボレリア *Borrelia duttonii* の differential display 解析  
田淵紀彦、福長将仁

### 日本分析化学会第55年会

2006年9月20日～22日 豊中市

- (1) 蛍光プレラベル法によるカルノシンの高感度分析  
丸山 潔、井上裕文、宗村小夜香、鶴田泰人

### 第65回日本癌学会学術総会

2006年9月27日～29日 横浜市

- (1) エールリッヒ乳癌細胞からのエンドセリン-1によるリポ蛋白質リパーゼの量的亢進  
蟻川内理恵、森田哲生

### 第39回日本薬剤師会学術大会

2006年10月8日～9日 福井県福井市

- (1) 乳幼児のタバコ誤飲事故に関するアンケート調査から  
横田いつ子\*、寺尾和美、杉原成美  
福山大学薬学部、\*兼吉調剤薬局

### 第15回日本ダニ学会大会

2006年10月25日～27日 福山

- (1) ミトコンドリア遺伝子構成比較によるツツガムシの系統解析  
湯浅伸輔、三谷春美、高橋 守<sup>a)</sup>、福長将仁  
福山大学薬学部、a)川越総合高校

### 第22回<sup>13</sup>C医学応用研究会

2006年10月27日～28日 東京都大田区

- (1) LC-MSによる<sup>13</sup>Cトレーサの検索 –カフェイン代謝物の検索と定量–  
五郎丸毅、小川智恵子、柿原良枝、内野めぐみ

### 第45回日本薬学会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会

2006年10月28日～29日 広島市

- (1) ニューロキニン1受容体拮抗作用を有するCP-728663の全合成  
池方康一郎、町支臣成、藤川亜以、渡邊司郎、棟近郁恵、吉田亜以、  
延廣順子、日比野俐
- (2) 生物活性を有する五環性化合物の全合成研究  
山吹 晃、町支臣成、谷口美紀、藤縄彦人、遠山茂雄、松本考司、  
延廣順子、日比野俐
- (3) 生物活性を有する五環性化合物の全合成研究  
山吹 晃、町支臣成、谷口美紀、藤縄彦人、遠山茂雄、松本考司、  
延廣順子、日比野俐
- (4) 演題:β-シクロデキストリンによるガレート基を有するカテキン類の分子認識機構の解  
明と(-)-エピガロカテキンガレートの包接錯体の構造と相互作用  
石津 隆、梶谷真也、平田千賀子、山本英二
- (5) デキストラン硫酸によるエールリッヒ癌細胞からのリポ蛋白質リパーゼの分泌に対する  
MAP (Mitogen Activated Protein) キナーゼの関与  
堀川祐介、虻川内理恵、本屋敷敏雄、森田哲生
- (6) 脂肪組織からのリポ蛋白質リパーゼの分泌に関与するチロシンキナーゼの解析  
奥田恵理子、虻川内理恵、本屋敷敏雄、森田哲生
- (7) 回帰熱ボレリア *Borrelia duttonii* VspE の同定および立体構造解析  
田淵紀彦、片柳克夫<sup>a)</sup>、川口博史、福長将仁  
福山大学薬学部、a)広島大学大学院 理学研究科
- (8) 薬学教育モデル・コアカリキュラム“討議する(態度)”へ対応するために  
田淵紀彦、田村 豊、岡村信幸、吉富博則、道原明宏、西尾廣昭、田中哲郎、  
藤岡晴人、本屋敷敏雄、田中正孝、五郎丸毅
- (9) 核内レセプターRORα4 遺伝子の細胞密度依存的な転写制御機構  
三木尚樹、松井隆司

- (10) パロキセチンの高感度蛍光プレラベル HPLC 分析に関する基礎的検討  
原田卓也、井上裕文、宗村小夜香、鶴田泰人
- (11) リソソーム膜糖タンパク質に及ぼすロバスタチンの効果  
戸田 憲、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (12) Cos7 細胞に一過性発現させたリソソーム膜糖タンパク質 lamp-1 変異体の細胞内分布  
未延道尚、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (13) Caco-2 細胞における P-糖蛋白質の輸送活性に及ぼす  $\beta$ -ナフトフラボンの影響  
寺尾和美、岡本達明、杉原成美、古野浩二
- (14) Caco-2 細胞におけるフラボノイドによる N-アセチル抱合阻害活性  
坂本一貴、吉村 真、鶴岡裕子、寺尾和美、杉原成美、古野浩二
- (15) ドッキングシミュレーションによるベンゾジアゼピン系薬物を用いた GABA<sub>A</sub> 受容体の立体構造の検討  
壽 佑樹、秦 季之、馬場瑛子、小野行雄
- (16) バルプロ酸とメロペネムの相互作用について (3) 一尿中代謝物について—  
永沼智至、佐海康浩、波多江智美、守安 彩、舟田有里、片山博和、  
吉田久博<sup>a)</sup>、神谷 晃<sup>b)</sup>  
a) 明治薬科大学、b) 山口大学医学部附属病院薬剤部
- (17) 培養肺胞 II 型上皮細胞におけるインスリン輸送特性の解析  
小田啓祐<sup>a)</sup>、湯元良子<sup>a)</sup>、田川葉希<sup>a)</sup>、永井純也<sup>a)</sup>、片山博和、高野幹久<sup>a)</sup>  
a) 広島大学大学院医歯薬総合研究科
- (18) Micafungin の遊離型血中濃度定量法の検討  
三好加純、五郎丸剛、中山やちよ、一木孝治<sup>a)</sup>、中窪智子<sup>a)</sup>、高橋浩二郎<sup>a)</sup>、江藤精二<sup>a)</sup>  
a) 産業医大病院薬剤部
- (19) ジェネリック医薬品 (散剤) の品質評価 ～調剤精度の視点から～  
楢原康仁、中山やちよ、松尾美果、五郎丸剛、江藤精二
- (20) 中国・四国地区における初の OSCE トライアル —福山大学 OSCE トライアル—  
江藤精二、田中正孝、佐藤英治、五郎丸剛、田中哲郎、田村 豊、片山博和、  
吉富博則、村上信行<sup>a)</sup>、小澤孝一郎<sup>b)</sup>  
a) 福山市薬剤師会、b) 広島大学薬学部

## 第 28 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム

2006 年 11 月 9 日～10 日 静岡市

- (1) 血管内皮細胞を用いたレニン・アンジオテンシン系作用薬の抗酸化能評価  
門脇大介、安楽 誠、坂哉 萌、丸山 徹、小田切優樹、  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部
- (2) 酸化修飾アルブミンは CD36 を介して尿細管間質障害を引き起こす  
岩尾康範、平池美香子、安楽 誠、中城圭介、永井竜児、北村健一郎、小田切優樹  
福山大学薬学部、熊本大学大学院医学薬学研究部

### 第33回核酸化学シンポジウム

2006年11月20日～22日 大阪府吹田市

- (1) C4' 酸化脱塩基部位を含むオリゴヌクレオチドの光化学生成とアミンとの反応  
白井一晃<sup>a)</sup>、麻生真理子<sup>a)</sup>、渡口由希子<sup>a)</sup>、柿原良枝、五郎丸毅、末宗 洋<sup>a)</sup>  
a)九州大学大学院薬学府

### 第36回複素環化学討論会

2006年11月22日～24日 長崎市

- (1) ニューロキニン1受容体拮抗作用を有するCP-728663の合成研究  
池方康一郎、町支臣成、藤川亜以、渡邊司郎、棟近郁恵、吉田亜以、  
延廣順子、日比野俐

### 第21回日本薬物動態学会年会

2006年11月29日 東京

- (1) ポリビニルアルコールを担体としたパクリタキセル水溶性高分子プロドラッグの合成と評価  
柿木充史、細川宜嗣、吉川智美、田中哲郎、金尾義治
- (2) 高度分岐環状デキストリンの体内動態—生体分解性高分子担体としての利用性—  
田口恭子、岡崎 崇、細川宜嗣、田中哲郎、山口泰典<sup>a)</sup>、金尾義治  
a)福山大学生命工学部

### 日本分子生物学会2006フォーラム

2006年12月6日～8日 名古屋市

- (1) 低酸素応答配列を介したRORa4遺伝子の細胞密度・酸化ストレス依存的な転写制御  
三木尚樹、松井隆司

### 第32回反応と合成の進歩シンポジウム

2006年12月4日～5日 広島市

- (1) 生物活性を有する五環性化合物の全合成研究  
山吹 晃、町支臣成、藤縄彦人、谷口美紀、遠山茂雄、松本考司、  
延廣順子、日比野俐

(国際学会)

**The 3rd Korea-Japan Joint Symposium on Drug Delivery and Therapy**

**April 20 ~ 21, 2006 Seoul(Korea)**

- (1) *Synthesis of poly(vinyl alcohol)-doxorubicin conjugates containing cis-acinetyl acid-cleavable bond and its isomer dependent doxorubicin release*  
Atsufumi Kakinoki, Yuka Ikeda, Tetsuro Tanaka, and Yoshiharu Kaneo

**1st Asia Pacific ISSX Meeting (APISSX 2006)**

**May 24-27, 2006 Jeju(Korea)**

- (1) Oxidation and Carboxyl Methyl Lysine (CML)-Modification of Albumin; Possible Involvement in the Progression of Oxidative Stress in Hemodialysis Patients  
Makoto Anraku, Katsumi Mera, Kenichiro Kitamura, Toru Maruyama, Kimio Tomita and Masaki Otagiri  
Fukuyama University, Kumamoto University

**20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress**

**June 18 ~ 23, 2006 Kyoto (Japan)**

- (1) Endothelin-1 stimulates the release of lipoprotein lipase from Ehrlich ascites tumor cells  
Rie Kerakawachi, Toshio Motoyashiki, and Tetsuo Morita
- (2) Immunodominant Epitope in the C-terminus of a Variable Major Protein in *Borrelia duttonii*, an Agent of Tick-Borne Relapsing Fever.  
Norihiko Tabuchi, Koichiro Tomoda, Hiroshi Kawaguchi, Hiroyuki Iwamoto<sup>a</sup>), and Masahito Fukunaga  
Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Fukuyama University  
a)Faculty of Life Science and Biotechnology, Fukuyama University

**Serotonin club: Sixth IUPHAR satellite meeting on serotonin**

**June 27-30, 2006 Sapporo (Japan)**

- (1) Functional expression of 5-HT<sub>2A</sub> receptors in mouse osteoblasts -Activation of ERK pathway by 5-HT<sub>2A</sub> receptors on osteoblastic cell proliferation-  
Takao Hirai, Naoko Yoshinaga, Teruko Kurosaki, Hiroaki Nishio.
- (2) Serotonergic system regulates cellular differentiation in mouse osteoblasts.  
Hiroaki Nishio, Takao Hirai, Naoko Yoshinaga, Kota Kaneshige, Teruko Kurosaki, Atsuyo Fujii.



**18<sup>th</sup> ISFC International Symposium on Fluorine Chemistry**

**July 30~August 4, 2006 Bremen (Germany)**

- (1) Efficient Synthesis and Anti-angiogenic Activity of a Fluorinated Analog of Medroxyprogesterone Acetate (MPA), 9 $\alpha$ -Fluoromeroxyprogesterone Acetate (FMPA)  
Satoshi Hibino, Natsuko Murata<sup>a</sup>), Shiho Fujimori<sup>a</sup>), Yoshitatu Ichihara<sup>a</sup>),  
Yoshio Sato<sup>a</sup>), Taketo Yamaji<sup>a</sup>), Hiroshi Tsuboi<sup>a</sup>), Hiroto Suzuki<sup>a</sup>), Masashi Yamada<sup>a</sup>),  
Tsutomu Oikawa<sup>b</sup>), Hideo Nemoto<sup>c</sup>), Junko Nobuhiro, and Tominari Choshi  
Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Fukuyama University,  
a)Pharmaceuticals Development Department, Meiji Dairies Corporation  
b)Faculty of Health and Social Work, Kanagawa University of Human Services,  
c)Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Toyama University

**GPEN2006**

**Oct 24-27, 2006 Kansas(USA.)**

- (1) INTRAVENOUS IRON ADMINISTRATION INDUCES OXIDATION OF SERUM ALBUMIN IN HEMODIALYSIS PATIENTS  
Anraku M, Kitamura K, Shinohara A, Maruyama T, Otagiri M.  
Fukuyama University, Kumamoto University